

## 「連合会長は国葬に欠席すべき」

### とのOB組合員の記事が掲載！

9月26日の東京新聞（朝刊）に、JR東労組OB・齋藤弘敦さんの投稿が掲載されました。

## 連合会長は国葬欠席を

会社員 齋藤 弘敦 61  
(神奈川県茅ヶ崎市)

報道各社の世論調査では、国葬反対が賛成を圧倒している状況だ。その中で連合の芳野会長は「労働者の代表として出席せざるをえない」と国葬出席を表明した。多くの組合員は「なぜ参加するのか」と疑問や不満を感じたはずだ。

八年間、安倍元首相は労働者の賃金・雇用を切り捨て貧困層を増大させた。また、公文書改ざんでは善良な労働者を自殺にまで追い込む村度政治を許した。そして日本の平和政策を転換させる憲法九条改悪の野望と軍備増強を公言し、国民を扇動し不安を与え続けてきた。

それでも「労働者の代表として参加」となれば組合員の求心力は低下するだけだ。今、連合会長がすべきことは労働者に寄り添い、声を聴いて実態をつかみ、労働者の先頭に立つことである。